卓 話

60周年を踏まえた 3ヶ年戦略計画展望について

- ■長期計画委員会 委員長 荒井 伸夫
- ■長期計画委員会 副委員長 渋谷 廣慶
- ■長期計画委員会 委員会幹事 内山 泰成



ご挨拶

■長期計画委員会 委員長 **荒井 伸夫**

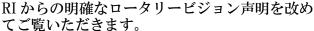
ただいま第2次の最終年度になります。

来年度からは、新しい第3 次3年計画になります。

「ビジョン」について ■長期計画委員会 副委員長 **渋谷 廣慶**

ビジョンに関してお伝えいた します。

本日は、皆様から意見をお伺いする、というスタンス。



ロータリーのビジョン声明

私たちは世界で、地域社会で そして自分自身の中で

持続可能な良い変化を生むために 人びとが手を取り合って 行動する世界を目指しています

「地域で一番になろう」 今までやってきたクラブのビジョンですが、 それを深めて方向性を作っていく必要性がある と考えます。

第3次3年の計画を説明します。

■長期計画委員会 委員長 荒井 伸夫

クラブ・地区・RIとあり、これまでは別々にやってきたが、それぞれの段差を埋めていこうとしています。



クラブではクラブでやらなければいけないことがあり、その調和が難しいところです。



新しい長期計画の概要…クラブのビジョンを どこまで RI のビジョンに近づけるか

2022-23 年度 大宮西ロータリークラブ戦略計画(案)



■戦略目標① 「より大きなインパクトをもたらす」

インパクトのある奉仕活動によりブランドイメ ージを向上させ、魅力ある団体であり続ける

- ●戦略ポイント
- ポリオの根絶
- ・活動成果と測定能力の向上 (活動を測定して評価する)
- ・感動を共有できる"新規事業"の開発
- ●3年目標
- ①地域ニーズに合った"成果検証"ができる、持続可能な新規事業の開発
- ②グローバルな視点に立った環境問題、ポリオ 撲滅への取り組み
- ③事業で多くの参加者と交流し、クラブのブランドイメージを向上させる
 - (クラブ内でとどまらず外へも)
- ④国内外に新規友好クラブの提携を進め、合同 奉仕活動も検討する

(国内の友好クラブも。海外は英語圏のクラブはどうだろう…英語に接する機会を) 来年の世界大会はメルボルン。 新しい友好クラブを。

■戦略目標②

「参加者の基盤を広げる」 (外部の人をどう取り込むかが大事)

ロータリーへの新しい経路を創出し、ロータリ